

附属書 2 座位保持装置部品試験用治具

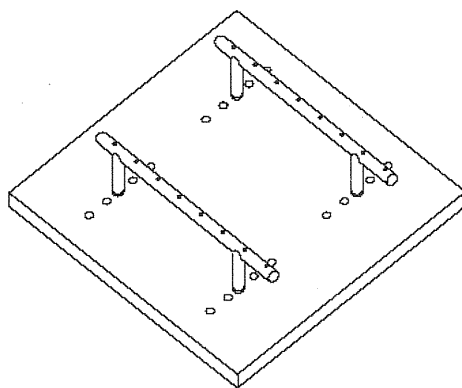
試験固定装置

試験中、座位保持装置を固定するために使用する。

可変型固定試験フレーム

座位保持装置を車いすフレームに取り付けるときの代用のフレームであり、固定ベルト等を取り付けて試験する。座位保持装置付属品の角度調整が最大に出来るようになっている必要がある。

試験フレームの可変型部品間の外形寸法は $280\text{mm}\pm 30\text{mm}$ から $580\text{mm}\pm 30\text{mm}$ まで調節可能でなければならない。可変型固定試験フレームの例を図A 1に示す。これは、ISO16840-3の4.1.1 Adjustable rigid test frameと同じものである。

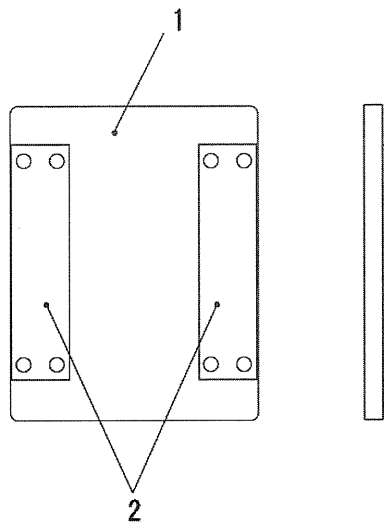


図A 1 固定試験装置例

固定代用支持面

固定水平面での使用を意図した座位保持装置の付属品を固定装着させる手段で、固定水平支持面以外には使用できない。

代わりの固定支持面の例を図A 2に示す。各種付属品のマウントに対応するために、穴を開けたり、他の物が使用できる。これは、ISO16840-3の4.1.2 Rigid surrogate support surfaceと同じものである。



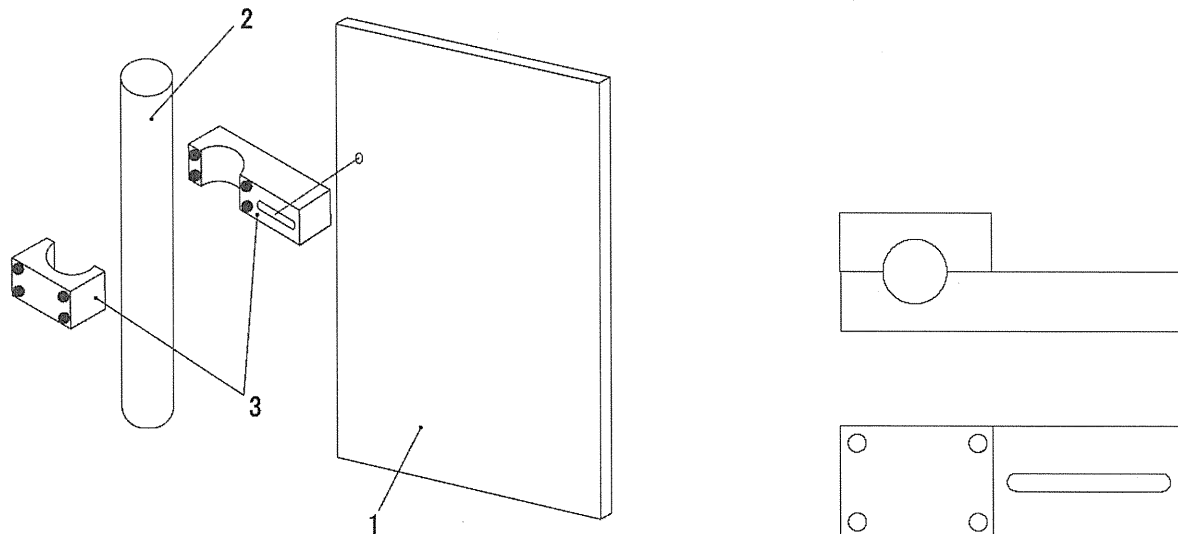
1 : 合板, 2 : 鉄鋼

図A 2 試験付属装置のための代わりの固定支持面の例

代用取付固定用治具

代用固定装置は座位保持装置に付属品を使用するが固定用治具の供給がない場合に使用する。代用固定装置は座位保持装置を固定試験装置へ取り付けるために使用する。これは、ISO16840-3の4.2 Surrogate attachment hardware と同じものである。

代用取付固定治具の例を図A 3に示す。



- 1 : 固定代用支持面
- 2 : 座位保持装置の部品
- 3 : 代用取付固定治具

取付状態

治具の詳細

図A 3 座位保持装置に取り付ける代用取付固定用治具の例

荷重パッド

座位保持装置に荷重を作用させるもの、以下で規定する。

座荷重パッド

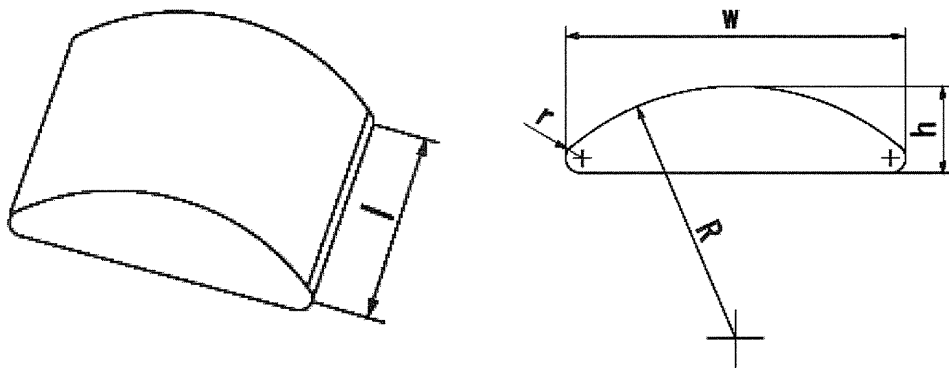
ISO16840-2 で規定される固定形状荷重圧子 RCLI(rigid contoured loading indenter)

調整可能凸型荷重パッド

調整可能凸型荷重パッドは硬質材で作られた荷重パッドで凸面があり、幅は試験する座位保持装置に最大に接触するように長さを決定し、調整可能なもの。適応使用者の体重別に寸法を規定する。これは、ISO16840-3の4.3.2 Variable convex loading pad と同じものである。

試験する座位保持装置と荷重パッド間の摩擦を減少させるために荷重パッドの外側の表面に最大厚さ 10mm のウレタンクッションを取り付け、表面にはビニールもしくは布製のカバーを取り付ける。座位保持装置の作用レンジに合わせるために最小のパッドを選択する。例えば、座位保持装置が 25kg～49kg の体重用に作られた場合、試験には 25kg の荷重パッドを使用する。より小さな半径と幅のパッドは滑りに関してより適切な試験になる。

調整可能凸型荷重パッドの例を図A 4に、寸法を表A 1に示す。



図A4 調整可能凸型荷重パッド

表A1 調整可能凸型荷重パッドの寸法

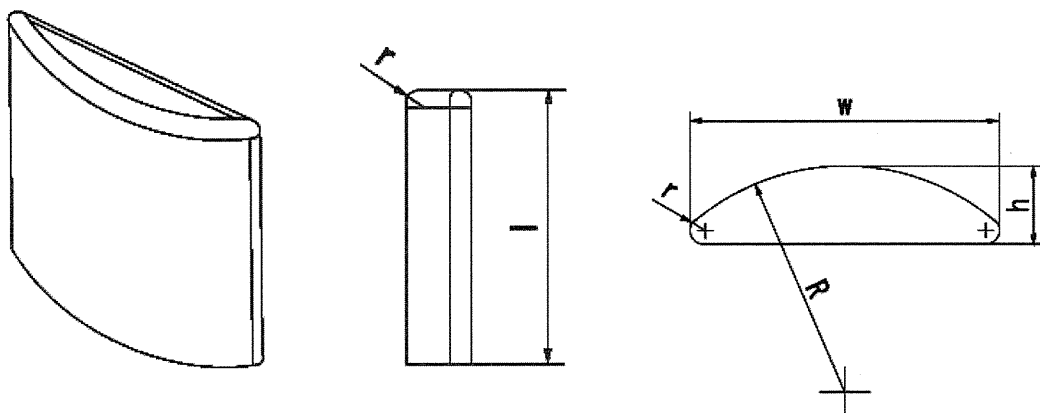
寸法	使用者の体重				
	25kg	50kg	75kg	100kg 以上	公差
幅 (mm), w	210	270	323	360	±10
高さ (mm), h	62	79	95	106	±5
長さ, l	可変※	可変※	可変※	可変※	
凸半径 (mm), R	210	270	323	360	±10
端の半径 (mm), r	21	27	32	36	±3
※試験する座位保持装置に合わせる					

調整可能体幹用荷重パッド

調整可能体幹用荷重パッドは硬質材で作られた荷重パッドで体幹上部を代用するもの。適応使用者の体重別に寸法を規定する。これは、ISO16840-3 の 4.3.3 Variable torso convex loading pad と同じものである。

試験する座位保持装置と荷重パッド間の摩擦を減少させるために荷重パッドの外側の表面に最大厚さ 10mm のクッションを取り付け、表面にはビニールカバーを取り付ける。座位保持装置の作用レンジに合わせるために最小のパッドを選択する。例えば、座位保持装置が 25kg～49kg の体重用に作られた場合、試験には 25kg の荷重パッドを使用する。

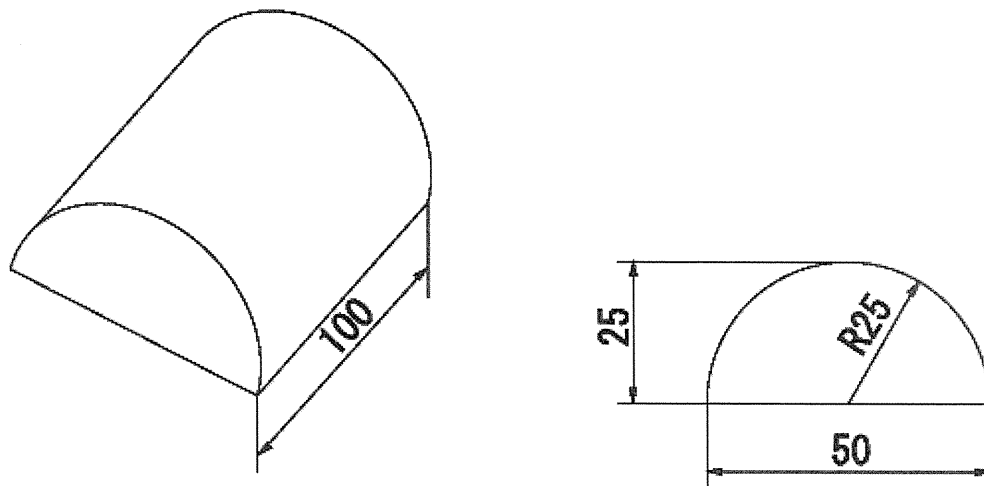
調整可能体幹用荷重パッドの例を図A5に、寸法を表A1に示す。



図A5 調整可能体幹用荷重パッド

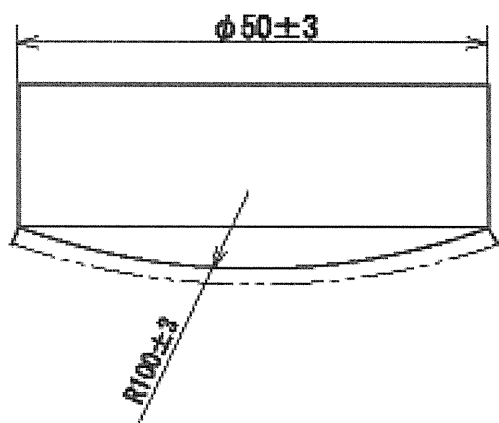
凸型荷重パッド

凸型荷重パッドは硬質材で作られており、寸法例を図A 6、A 7に示す。図A 6は、ISO16840-3の4.3.4 Convex loading pad と同じものである。図A 7は、ISO7176-8の5.3 Convex loading pad と同じものである。



図A 6 凸型荷重パッドA

単位 mm



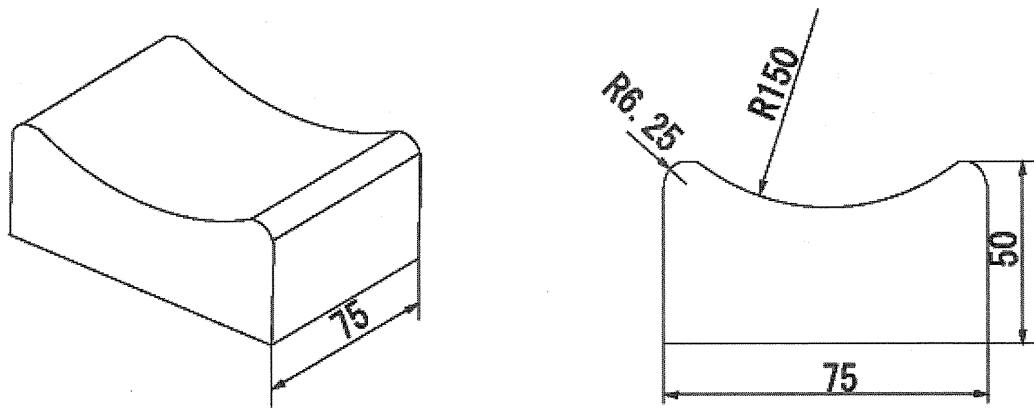
材質：金属か硬質木材

荷重負荷表面は厚さ3mm以下の滑らない材料で覆う。
(例：プラスチックフォーム)

図A 7 凸型荷重パッドB

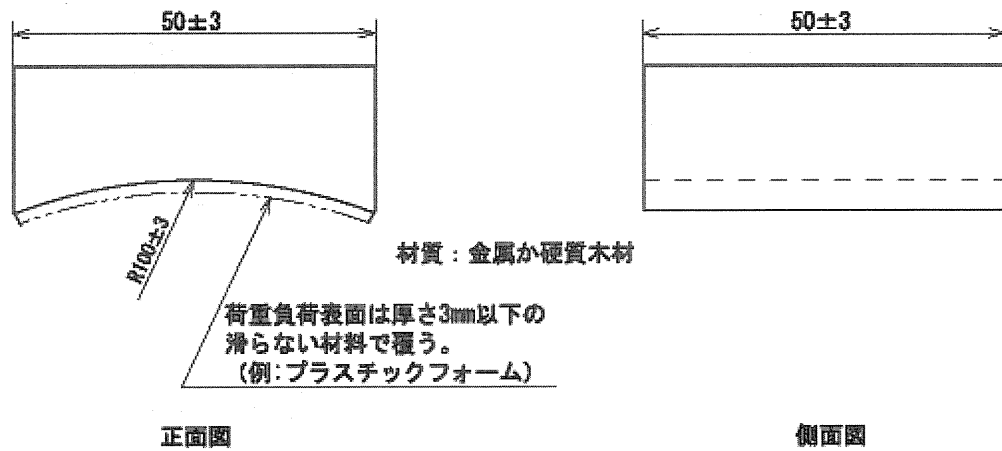
凹型荷重パッド

凹型荷重パッドは硬質材で作られており、寸法例を図A 8、A 9に示す。図A 8は、ISO16840-3の4.3.5 Concave loading pad と同じものである。図A 9は、ISO7176-8の5.2 Concave loading pad と同じものである。



図A8 凹型荷重パッドA

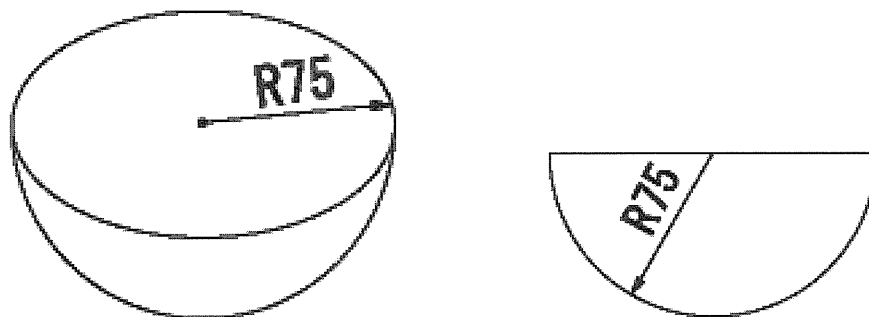
単位 mm



図A9 凹型荷重パッドB

75mm 半球型荷重パッド

凸型荷重パッドは硬質材で作られており、寸法例を図A10に示す。これは、ISO16840-3の4.3.6 Convex hemispherical loading padと同じものである。



図A10 75mm 半球型荷重パッド

Ⅱ. 研究成果の刊行に関する一覧表

本研究の報告書を除いて、刊行されたものはない。

Ⅲ. 研究成果の刊行物・別刷

上記より刊行物はない。

平成23年度厚生労働科学研究補助金
障害者対策総合研究事業（身体・知的障害分野）
座位保持装置の安全で適切な流通の促進に関する研究
総合報告書

平成24年 3月31日

発行者 廣瀬秀行（研究代表者）
国立障害者リハビリテーションセンター研究所
359-8555 埼玉県所沢市並木4-1

